

## SolidSurface、HANEDA INNOVATION CITY にて ロボットテストフィールド の提供サービスを開始

### ースマートシティ実現に向けた実運用データの蓄積と分析を推進ー

SolidSurface 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：酒造 孝、以下、当社）は、「HANEDA INNOVATION CITY（以下、HICITY）」において、ロボットサービス事業者に向けた実証運用試験のために、HICITY にて整備された設備類を利用したテストフィールドの提供サービスを開始しました。

#### 背景・目的

HICITY は、羽田空港に隣接し、研究開発・先端医療・文化産業などの拠点機能を有するスマートシティとして整備が進められており、新技術・サービスの社会実装を推進する場として注目されています（参考：<https://www.kajima.co.jp/news/press/202305/11a1-j.htm>）

本テストフィールドでは、搬送・清掃などの業務におけるロボット活用による効率化や新たなサービス体験の創出を促進する実証の場を提供するとともに、ロボットの実運用から得られる多様なデータの蓄積と分析を通じて、スマートビルやスマートシティの実現可能性を検証することを目的としています。



## 実施内容

- ・屋内外通路・エレベーター・自動ドアなどの連携を含むテストフィールドの提供
- ・テストフィールドにおけるロボットの運行管理、およびロボット制御の実行・支援
- ・ロボット運行から収集された各種データの取得と評価・分析

## 協力体制

本テストフィールドでの実証運用にあたっては、当社も参画する「羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会」において蓄積された「ロボットを用いたデリバリー支援システム」や「ロボット統合管制システム」に関する知見を活かしつつ、HICITYとも連携をし事業を推進してまいります。

## 期待される効果・成果

業務効率化：

- ・ロボット活用による清掃・搬送業務の省人化と品質向上への貢献

技術・システム開発：

- ・複数ベンダー製ロボット群を一元管理する統合プラットフォームの設計・開発への貢献

スマートシティ実現への貢献：

- ・複数ロボットの同時運用や遠隔制御技術の検討
- ・ビル管理会社におけるロボット運用の収益化モデルの検討

## 今後の予定

今後は、異なる業務や異なるベンダーのロボットが、同一空間で複数業務を遂行する環境を想定し、それらの動作を統合的に管制・制御するシステムの運用検証を進めていきます。また、建物センサーや建物OSとの連携を通じて、建物とロボットの連携仕様の確立を目指します。

当社は本取組を通じて、施設全体を視野に入れたロボット統合制御の可能性を探り、将来的な商用展開の実現を目指します。

## お問い合わせ

広報担当 金谷（かなや）

[info@solidsurface.co.jp](mailto:info@solidsurface.co.jp)